



活用場面	
◎	田植え

- ◎：市販化
- ：開発中

導入効果とコスト							
田植え作業時間の削減	↓	44%	<table border="1"> <tr> <th>購入価格</th> <td>300万円 ~550万円</td> </tr> <tr> <th>受託利用</th> <td>約7,000円/10a</td> </tr> </table>	購入価格	300万円 ~550万円	受託利用	約7,000円/10a
購入価格	300万円 ~550万円						
受託利用	約7,000円/10a						
経験が少ない方でも熟練者と同等以上の精度で作業が可能	↓	-					
直進作業の疲労を軽減	↓	-					
<small>※ 2018年成果情報（農研機構）</small>							
<small>※費用対効果の試算 20haの受託の場合（作業時間0.4時間/10a） 慣行は作業全体で80時間 40%短縮すると32時間の削減 オペレータ賃金は約1万円/日で、年4万円削減 約8年で、通常の田植機との価格差を回収</small>							

技術開発の状況と課題

- GPSにより直進をアシストします。
- 衛星の受信状態によりGPSの測位が不良の場合は作動しない場合があります。
- GPSの基地局（移動式、固定式）を使用することで、より高精度の作業をすることができる機種があります。
- GPSの地図情報を活用し、可変施肥が可能な機種もあります。

こんなことができます

- 直進キープ
  - 基準線A B間に平行に田植え
    - ・GPSにより田植作業の直進をアシストします。
    - ・落水しなくても田植ができます。
    - ・旋回も自動でできる機種もあります。
- 作業に不慣れな方でも、熟練者と同等以上の精度、速度で作業することが可能です。
- 熟練者は、アシスト機能による疲労が軽減されるため、作業効率が向上します。特に長時間の作業では疲労軽減の効果が大きくなります。
- 設定は容易



- ・タブレット端末などを利用して設定を行います。

使いこなすためのポイントと留意点

- GPSの受信状態やほ場条件により直進キープ機能を使用できない場合があります。
- ・ほ場の形状が変形している場合
  - ・ほ場の畦が不安定で崩れやすいほ場の場合
  - ・ほ場やあぜに障害物がある場合
  - ・ほ場内に人がいる場合
  - ・周り植作業を行う場合

安全な使用に気をつけましょう

- ・事故防止のための安心機能を備えています。
- ・畦が近づくと警報で知らせます。
- ・畦超えなどで、機体が大きく傾くと自動でエンジンが止まり、ほ場外への逸脱を防止します。
- ・直進キープ機能が入った状態で、障害物等を避ける場合は、手動のハンドル操作が優先されます。
- ・安心機能を備えていますが、依存することなく、安全な使用に気をつけましょう。ほ場内への人の侵入や障害物には注意や確認が必要です。

【他の機械との比較】 ※数値は大凡の目安です

	一般6条植	直進キープ機能6条植
価格(税別)	約280万円	約310万円